

第8回上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会 (書面開催)

開催日：令和8年6月9日

目 次

協議事項

- (1) 令和7年度上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会（法定協議会）
会計監査報告について【資料1】
- (2) 令和8年度上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会（法定協議会）
事業計画について【資料2】
- (3) 令和8年度上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会（法定協議会）
収支予算について【資料3】

報告事項

- (1) これまでの振り返りについて【資料4】
- (2) 今後のスケジュールについて【資料5】

令和7年度歳入歳出決算監査書

会計監査結果報告書

上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会の令和7年度事業内容及び収支決算について、記帳簿及び証拠書類に基づき監査を行った結果、適正と認められたので報告します。

令和8年 5 月 27日

監事 高崎商工会議所 専務理事

自署

石綿和夫

令和 7 年度上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会（法定協議会）
収支決算

歳入決算額 19,981,437 円

歳出決算額 19,801,100 円

差引額 180,337 円（令和 8 年度に繰越）

1 歳入の部

（単位：円）

科目	予算額 A	歳入済額 B	差引額 B-A	備考
前年度繰越金	177,362	177,362	0	
負担金	14,135,000	14,135,000	0	群馬県 7,070 千円 高崎市 3,265 千円 甘楽町 718 千円 富岡市 2,158 千円 下仁田町 693 千円 南牧村 231 千円
補助金	5,665,000	5,665,000	0	地域公共交通アップデート化 推進事業（広域型）
諸収入	0	4,075	4,075	利息
計	19,977,362	19,981,437	4,075	

2 歳出の部

（単位：円）

科目	予算額 C	歳出済額 D	差引額 C-D	備考
会議費	0	0	0	
事業費	19,800,000	19,800,000	0	・ 法定協議会（経営連絡分科 会）運営補助及び地域公共交 通計画検討に係る業務委託
事務費	177,362	1,100	176,262	・ 振込手数料
予備費	0	0	0	
計	19,977,362	19,801,100	176,262	

3 次年度繰越金

（歳入の部）19,981,437 円－（歳出の部）19,801,100 円＝180,337 円

令和 8 年度上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会（法定協議会）
事業計画（案）

名称・開催日	内 容
第 8 回上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン 推進協議会（法定協議会） ＜令和 8 年 6 月＞	○令和 7 年度事業報告 ○令和 7 年度収支決算 ○令和 8 年度事業計画 ○令和 8 年度収支予算 ※書面開催
上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協 議会地域懇談会 ＜令和 8 年 7 月＞	○協議会の取り組みについて沿線住民と懇談 ※3 エリアで 1 回ずつ実施
第 7 回上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン 推進協議会経営連絡分科会 ＜令和 8 年 8 月頃＞	○地域公共交通計画策定検討 ○特定事業実施計画策定検討
第 8 回上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン 推進協議会経営連絡分科会 ＜令和 8 年 1 0 月頃＞	○地域公共交通計画策定検討 ○特定事業実施計画策定検討
第 9 回上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン 推進協議会経営連絡分科会 ＜令和 9 年 1 月頃＞	○中小私鉄 3 社経営改革検討 ○地域公共交通計画策定検討 ○特定事業実施計画策定検討
第 9 回上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン 推進協議会（法定協議会） ＜令和 9 年 2 月頃＞	○中小私鉄 3 社経営改革検討 ○第 7 ～ 9 回経営連絡分科会開催概要報告 ○地域公共交通計画策定検討 ○特定事業実施計画策定検討

**令和8年度上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会
収支予算(案)**

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

1 収入

(単位：円)

項目	前年度 予算額	予算額	増減	摘 要
前年度繰越金	177,362	180,337	2,975	利息収入を含む
負担金	14,135,000	19,920,000	5,785,000	【内訳】 ・群馬県 9,963千円 ・高崎市 4,602千円 ・甘楽町 1,011千円 ・富岡市 3,041千円 ・下仁田町 977千円 ・南牧村 326千円 計 19,920千円
補助金	5,665,000	10,000,000	4,335,000	地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通再構築調査事業）
諸収入		0	0	
合計	19,977,362	30,100,337	10,122,975	

2 支出

(単位：円)

項目	前年度 予算額	予算額	増減	摘 要
会議費		0	0	
事業費	19,800,000	29,920,000	10,120,000	法定協議会（経営連絡分科会）運営補助及び計画策定等に係る業務委託
事務費	177,362	180,337	2,975	振込手数料等
予備費		0	0	
合計	19,977,362	30,100,337	10,122,975	

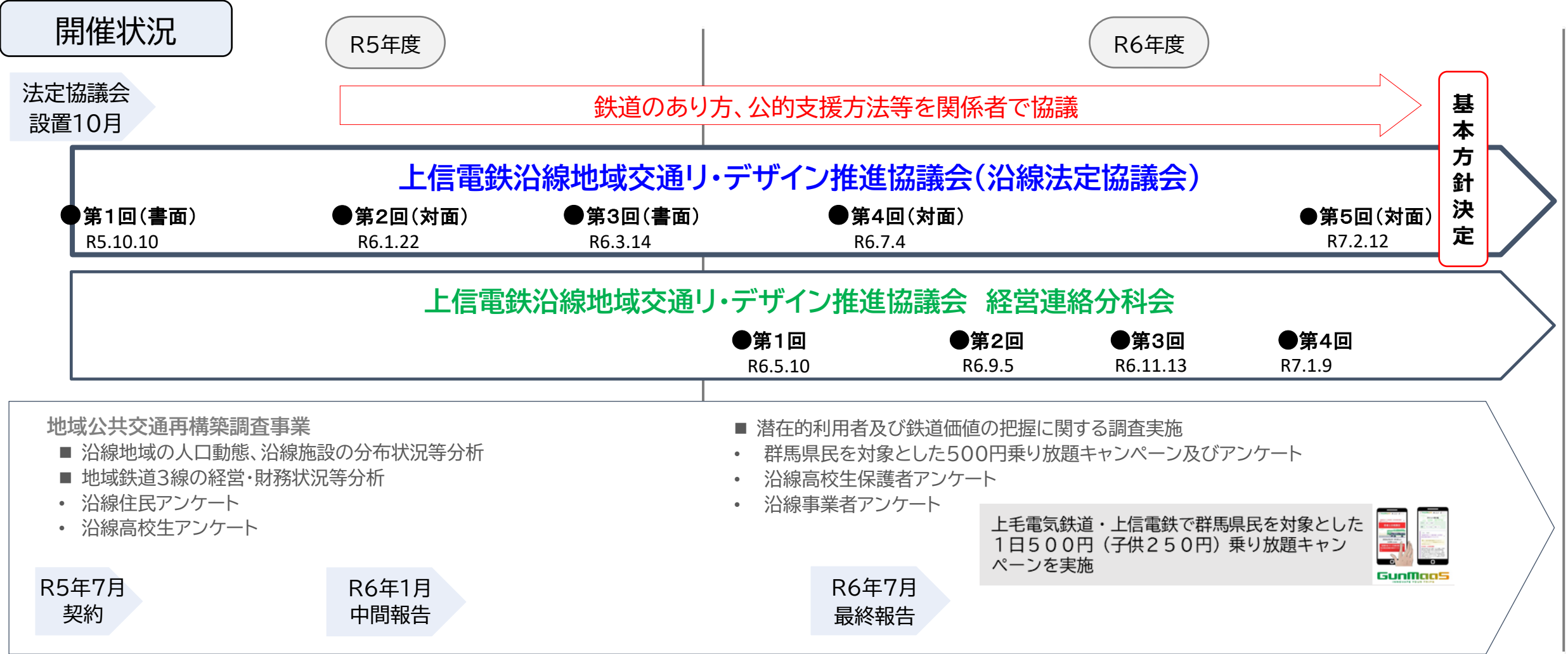
* 支出予算の項目ごとについて過不足が生じた場合は、相互に流用できるものとする。

上信電鉄沿線地域交通 リ・デザイン推進協議会



2.これまでの検討経過

- ◇R5年度 ・沿線ごとに、地域交通法に基づく法定協議会を設置。各鉄道沿線地域状況や経営状況分析等、基礎データづくりを実施
- ◇R6年度 ・基礎データに基づき、鉄道のあり方、公的支援方法等について、経営連絡分科会、法定協議会にて議論
- 令和7年2月12日、【**上信電鉄の今後のあり方に関する基本方針**】を決定



3.令和7年度の取組み ①地域懇談会の実施

- ・上信電鉄沿線地域公共交通計画策定にあたって、下記を目的とした地域懇談会を実施
 - ①住民に上信電鉄を取り巻く状況、上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会での検討の方向性に対して沿線住民の理解を深める
 - ②沿線住民が感じている課題と上信電鉄沿線地域交通リ・デザイン推進協議会が考える課題のすり合わせを行う
 - ③沿線住民とともに主体性をもって課題解決策の検討に取り組み、地域公共交通施策を検討していく
- ・地域懇談会は全体で3回実施する構成として、令和7年度はうち2回を実施

令和7年度は第2回までを実施

第1回

上信電鉄や地域公共交通などがどのような状態になったらよいか

第2回

第1回で考えた状態にするためにどのような方策があるか

第3回

第2回で考えた方策を誰がどのように実行するか、実行するための懸念事項は何か

3.令和7年度の取組み ①地域懇談会の実施(第2回で挙げた主な意見)

解決策の方向性		第2回地域懇談会で出た改善策のアイデア	
幹線軸の機能強化	快適な利用環境の整備	車両の運用の見直し	
	利便性向上に資する取り組みの推進	所要時間短縮方策	
		運行ダイヤの見直し(運行時間の延長等)	
		分かりやすい情報発信	
		キャッシュレス決済の導入	
鉄道を軸としたネットワークの再構築	鉄道拠点の整備	待合環境の改善	
		乗り換え動線の改善	
	利用しやすい端末交通の環境整備	端末交通のサービス向上及び情報周知	
		駐車場・駐輪場の整備	
多様な主体の協働による地域を支える仕組みづくり	利用促進活動の実施	学校・企業等でのMM(モビリティマネジメント)、利用機会の創出	
		交通拠点における交流・にぎわいの創出	
	運賃負担の軽減	移動手段確保としての運賃負担軽減方策	
	地域や関係者が一体となった利用促進	周辺施設と連携した運賃割引制度、鉄道駅や車両での周辺情報の案内	
	上信電鉄の魅力向上	イベント車両、人気アニメとのタイアップ等	
		広告等による協賛	

3.令和7年度の取組み ①地域懇談会の実施(経営連絡分科会での議論)

・地域懇談会で挙げた意見を計2回の経営連絡分科会に挙げて、地域公共交通計画に盛り込むべき施策や上信電鉄沿線が目指す将来の方向性を検討 ※地域懇談会・経営連絡分科会の実施にあたって、法定協議会を1回実施

表 経営連絡分科会の実施状況

	実施時期	主な議題
第5回	令和7年 9月	(1)新たなサポート体制(組織)の検討状況・方向性について(中間報告) (2)上信電鉄沿線地域懇談会で挙げられた課題の振り返りについて
第6回	令和8年 3月	(1)第2回上信電鉄沿線地域懇談会の振り返りについて (2)第2回上信電鉄沿線地域懇談会を踏まえた意見照会結果について (3)今後のスケジュールについて

表 法定協議会の実施状況

	実施時期	主な議題
第7回	令和7年 6月	(1)令和6年度協議会における取組状況の振り返りについて (2)令和6年度協議会会計監査報告 (3)令和7年度協議会事業計画について (4)令和7年度協議会予算について (5)今後のスケジュールについて (6)その他

3.令和7年度の取組み ②企画切符の実証

・潜在的利用者把握のために①複数人利用者を対象とした1日区間フリー切符、②高校生を対象とした1日フリー切符の実証を実施

①複数人利用者を対象とした1日区間フリー切符

■実施目的

・複数人(団体)利用者を対象とした区間フリー切符を販売することにより、鉄道を利用したグループお出かけ需要を掘り起こし

■実施結果

・11/1～12/31の実証期間中に93枚の販売実績

・アンケートでは9割以上が「満足」と回答するなど、観光目的の切符として、一定の需要があることを把握

・更なる利用増加のためには、GunMaaSやSNS等を活用した県外利用者向けへのPRが有効

②高校生を対象とした1日フリー切符

■実施目的

・沿線の自転車通学者が悪天候時に鉄道を利用する等、単発利用者の獲得を目指す

・買い物や部活動遠征等で、鉄道を利用する機会を拡充し、大人になってからも公共交通を利用するマインドを醸成

■実施結果

・11/1～12/31の実証期間中に121枚の販売実績

・通学目的より買い物等遊び目的での利用が多いため、娯楽施設等と連携したPRが効果的と推察

今後のスケジュール案（R8～9年度）

- 令和7年2月にリ・デザイン推進協議会（法定協議会）において、私鉄3社の今後の鉄道のあり方等について結論（方向性）を決定した。
- 令和9年度中に地域公共交通計画の策定を目指す。
- 令和7年2月の結論に盛り込まれた、3社の経営改善を進めるための体制づくりについて、令和8年度中にサポート体制を決定する。
その後、事業計画の検討及び新体制の実装準備を行い、令和9年度以降の運用開始を目指す。

